

令和6年12月25日(水)

健康文化センター2階 プレイルーム

13時30分～15時5分

発言者	内容
事務局	出席者の確認
会長	あいさつ
事務局	資料の確認
委員長	それでは、議題(1)健康おおぐち21第三次計画(案)」について、事務局より報告をお願いします。
事務局	以下の資料により説明 ・健康おおぐち21第三次計画(案) ・目標指標の追加資料 【説明箇所】 ・人口(計画案p6) ・死因別死亡率(計画案p11) ・医療費(計画案p16-17) ・実施計画(計画案p43～) ・目標指標(追加資料)
委員長	事務局からの説明が終わりました。ご質問や感想などはよろしいでしょうか。まだお時間がありますので、皆さんも見ていただいているかと思いますが、キャッチフレーズはp38 のところに書かれていて、先程事務局の方から意図というかここを大事にというところを伝えていただいたかと思いますが。「健康で笑顔の大口」、「ずっと元気」、今回はウェルビーイングという部分も言われているところなので「みんな幸せ」、そして繋がりたいという言葉は皆さんの付箋の中からもありましたので、「支え合いつながるまちづくり」としておりますが。ここについても事務局の方からご意見をとのことですので。まずは挙手いただける方から。よろしければ、今日が最後になりますので、お一人ずつ感想をお願いします。
医師代表	昔に比べて健康への意識ははるかに高くなっていると思います。ジョギングとかウォーキング、自転車とか、昔より多いです。少しずつ健康のために、喫煙の人も減ってますし、健康的になっていると思います。
薬剤師代表	テーマ(キャッチフレーズ)の方はとても良いと思います。「支え合い」ということもありましたので、地域住民さんがそれぞれ意識をもって支え合っていくということが表現できているのではないかと思います。内容につきましては、目標値が県の目標値と同等になっていて良いと思います。公共施設とかの敷地内禁煙の実行性とか、そのあたりなんかも検証できるような形でやっていただけると良いんじゃないかなと思っております。あとは自分のところで言うと、かかりつけ薬局の認知度が少ない、もっと頑張らないといけないなと反省をしております。

地域自治組織代表	中地域としては、これを参考に、よく読んで、少しでも良い活動ができるようにと思っています。
代表健康推進員 連絡会代表	大口町にはいろいろな施設があって、私もトレーニングセンターを利用しているんですけど、地域の人たちが非常に良いということでおみえになっています。その中で、町内より町外の人の方が多くなっています。不思議な感じがいたします。それだけ魅力的なプログラムなんかをやっているんだと思います。私たちはいきいきカードも利用させていただいておるんですが、事業実績は 6.3%でえらい少ないなど。こんなにも良いシステムが作られているのに。変な感じがいたします。ということで、せっかく町の活動をやっておみえになるのですから、我々住民の方もですね、それに合わせるように、それを活用していかないといけない。私たち健康推進員はこれからも広報していきたいと思っております。 口腔関係の講座がありまして、結構だと思いました。誤嚥性肺炎を予防するために、嚥下の口の体操をしなければいけない、それから定期健診を下さいということを言われました。実を言いますと、私は歯医者に行くのは歯が痛くなってからと思っていました。でも講座では定期健診に行かないといけないと。ここで思うことは、毎年私は人間ドックも受けているのですが、歯の健診が人間ドックに入っていないですね。なぜ入っていないのか、それが少し不安な感じがします。1 日で済むところを、何日も違うところに行かないといけない、できればそういうものも入れていただくとありがたいかなと思います。
高齢者団体代表	まず質問を良いでしょうか。p70 に脳ドックと記載がありますが、脳ドックはなくなったと聞いたんですが、ここを確認したいです。
戸籍保険課	脳ドックは令和2年度をもって廃止をしております。
事務局	削除します。
高齢者団体代表	p29 の地域活動への参加とありますが、参加しているところをみると、人口関係なく、秋田とか豊田とかはすごい良いが、中小口も結構人口があると思うが低いですね。高齢化率に関係なく、地域での活動が少ないところはどのような課題があるのかと思いました。 これから皆さんが地域に参加できるようにしていかなければいけないですが、高齢化率がどんどん広がって、外坪の場合も、役員をやる人がなくなってきている。そうすると誰が支えていくのかということで、p73 の地域で支える住民づくりとありましたけれども、若い人たちが入ってこない、老人クラブも今やっておられる方たちがどんどん高齢化になってやる方がいない、という、役を決めるにしても人がいないということで困った状態が起こっていて、1 つの区は消滅しちゃっていて。私たちも危惧していて、負担がかからないようなやり方が必要。そう考えると、計画に書いてあることはその通りなんですけれども、現実的に本当に厳しい取り組みなので、具体的にどういう風にしていくのかなというところが検討課題かなと思っています。若い人が参加してくれないというのは大きな目標で、他所の区も皆一緒だと思うのですけどね、それが少し心配だなと思って。若い人がどんど

	ん参加してくだされば良いのですが、私たちの世代も、私より 10 歳若い世代の方たちが頑張ってくださると良いんですけども、そのあたりが……。参加する人はどこも一緒、出てこない人たちをここに巻き込んでいくというのが大きな課題だなと思っております。
委員長	今のことに對して事務局ご発言をよろしいでしょうか。
事務局	多岐にわたって、課題から今後の推進というところで挙げさせていただきました。12 年間の新たな計画になりますので、深堀り出来ているところと、行政もするんですけども私たちは何をするのか住民さんと一緒に、それから団体さんと一緒に作っていくということも当然あります。いろいろ地域活動の中では、いろんな組織だったり、地区だったり、大口町には地域自治組織もあったりということで、いろんな活動をしていたりだともありますけれども、役をする人がいなくなってきたということもありますが。今までの人口の構造ピラミッドのところもそうですが、若い人が高齢者を支えるというところから、少子高齢化なので支える人たちが少なくて、高齢者の人たちが多くなっている。支えてもらうという考えのところから、支え合うという、元気な人は元気で居続けて皆が幸せとキャッチフレーズにあるように、支えてもらうという受け身ではなく、やれる人は年齢関係なく支えるというような感じで、考え方とか仕組みとかが変わってきているので、そんな風で少しずつ変わっていかないと立ち行かないのではないかなというところ。三次計画は、自然に健康になれるというところでは、行政もチャレンジ、住民の皆さんはチャレンジしながら、今の時代にあった形を、今を生きる人たちと一緒に考えていながら、考えていくのかなと。今目の前にあることからやれること、新たな知恵をもらいながら、手を取り合いながらやっていくということになるのかなと思います。 この計画を参考書にして地域の中でやってみたいというお話がありましたが、これは計画書なので固い形ですけど、次の時には概要版という形で皆さんに身近なものとして提案できて、やってくださいではなく一緒にやっていきましょう、考えながら作っていきましょうと提案できるようなものを載せて概要版を作れるといいなと思っています。一緒にこれからも力を貸していただければと思います。
こども課	保育園で食育をすすめております。小さい頃から食育でからだを健康にして、そのまま成長して大きくなっても食育に関心をもって育っていただければ、健康で長生きできるかなと思っております。 食育をサポートしていただける団体さんがありまして、たまたま西保育園の団体さんが高齢化により継続が難しいというお話をいただきましたので、中地域の方にご相談をさせていただきまして、中地域でボランティアを募集していただいて、現在も西保育園は食育サポートという形で支援をしていただいている状況になっております。支援していただいているのも地域への参加という形で、やはり高齢者の方たちは多いものですから、楽しみに参加していただければ、その方の活性化になるのかなと思っておりますので、引き続き進めていきたいと思っておりま

	す。
学校教育課	概要版をつくるという話でしたが、こういう計画を作ると我々は調べたこと、思ったことを書きたいがために分量が多くなってしまふ。中身としては、やりたいこと言いたいことはこれだというものがあると思うので、概要版ではもっとわかりやすく出してもらえる良いなと思います。 キャッチフレーズについて、「支え合いつながるまちづくり」のところなんです。が、つながると健康がどのように繋がっているのか、もう少し説明があった方が良いのかなと。これは目指す姿なのか、健康に関連するものかがよく分からなかった。ので、つながるといふところがもう少しどこかで分かるとう良いなと思いました。
事務局	概要版に関しましては、前回の第二次計画の時にも分かりやすい形で示させていただいて。例えば食に関してだったら、一口目に野菜を食べるとか、歯に関してだったら、定期的な健診をすとか 1 日に 1 回は歯間ブラシで手入れしようとかそんなようなことを入れながら概要版を作って、これを健康教育で行く先々で配りながら取り組んでもらえるようなものを作りましたので、今回もこれがそのままバイブルのようになって住民さんにお渡ししながら説明できればなという風に考えております。 キャッチフレーズの「支え合いつながるまちづくり」について、前回の健康づくり推進協議会の際に皆さんに付箋に書いていただいた。その中でつながる、支え合うが多かった。健康づくりだけではないですけど、健康だけに特化する訳ではなくて、幸せづくりだったり、まちづくりだったり大きなものになるので、皆さんが思う言葉というのが、健康に特化するものでないものも出てきています。先ほど色々なところとコラボレーションしながら、結果、一人ひとりが健康になったりだとか幸せになったりというのに繋がっていくかと思ひますので、健康にどう結びつくのかというより抽象的なことになってしまうのですが、皆さんがここで考えていただいて、その言葉をこころに秘めながら活動、生活してもらふためのキャッチフレーズになればなと。皆さんからいただいた言葉を繋げたといふところ。健康に特化したわけではなく、結果、健康に繋がればなといふところす。
学校教育課	計画に説明がなかったもので・・・。
委員長	p38 に 2 行ほどで説明がありますが、いかがでしょう。
学校教育課	その部分からそこまで読み取れませんでした、すみません。
事務局	追記します。
勤労者の健康づくりに関わる団体代表	それぞれの指標をたくさん示していただいている中で、基準値があつて、目標値があつて、12 年という長い計画になるので、どこかに中間の振り返りをするとうったと思うんですけども、かなり長い期間がありますので、もう少し、毎年度とは言わないですけど、細かい段階で振り返っていただいて、それぞれの目標値に近づいていっているか見直ししながら、計画を改善していただいたら良いのかなと思います。ゴールがかなり先なので、なかなか難しいところがあると思ひますが、せっきく数字をすべて出されているので、1 つでも多く目標値をクリアでき

	るように進めていただけたらと感じておるところです。
住民団体代表	計画の中で、自分たちがやっている活動に関することとしては、p41 の協働で取り組む地域ぐるみの健康づくりというところが当てはまるのではないかなと思います。今指標という話が出ましたけれども、この部分は非常に数字で出にくい、結果で表しにくい部分ではあるとは思うんですけれども、ここのキーワードとしては、健康に関心が薄い人も無理なく自然に健康づくりに取り組める環境を整えるということと、その前で出ました大口町に住み続けることによって、自然に健康になれるような仕組みづくりというところがありまして、ここの部分に深く関わっていけたらなと思っております。その 1 つとして、色々な世代の人と関わりを持たせていただいている中で、健康に留意するということに関しては高齢者になってから関心が高くなっていくというところがあるんですけれども、この計画を見ますと、生まれてからすぐに健康づくりに取り組んで、若いうちから健康づくりに関心を持ちながら過ごした結果が高齢になった時の健康に繋がるということが読み取れますので、ぜひこの計画を皆さんに分かりやすい形でお示しいただいて、若いうちから健康づくりに役立てていただけたらと思うことと、健康に関しては、身体的なもの運動とか栄養とかの他に、心の健康が非常に大事だよということがここに謳われておりますので、地域で心の健康に関するサポートができるような仕組みができると良いかなと思っております。
識見を有する者	我々はトレーニングセンターの方を管理させていただいておりますが、コロナが明けて、徐々に利用者は増えております。皆さん健康志向が高い、健康を守るための動機も運動だけでなく、ダイエットだとか、そういった動機があると思うんですけれども、思いつき健康のためというよりも、楽しいからとか仲間がいるからとか、そういった動機もあると思うので、それがそのまま仕組みになるのかは分からないですが、色々な動機があって自然に健康になっていくようなプログラムやイベント、仕組みが作れたらと思います。そこから、健康であつたらおいしいごはんを食べられるとも思いますし、ストレス解消になって心の健康にも繋がると思いますので、その 1 つの要素として運動の部分をしっかり提供出来たらなと改めて思いましたので、頑張っていきたいなと思っております。
識見を有する者	キャッチフレーズについて、「ずっと元気」が引っ掛かったずっと元気でいるためには今日元気じゃないといけないので。第一次の時の「今日も元気」の方が個人的には良い。今日この日を 1 日しっかり生きるという意味では「今日も元気」の方が良いのかなとは思っておりますけれども、流れがあると思いますので、これで良いのかなと思います。 12/22 に中日新聞で、愛知県の体力テストの結果が、愛知県は小5が最低、これはずっと続いていますよね、下から 2 番目の 46 位で、愛知県はずっと体力テストの結果が悪いですよね。先ほど、食育の話もありましたが、体を育てることは運動だけではないですが、そこをもっと膨らますことが大事かなと思うんです。なので未就学の子どもたちだけでなく、学童期という時期にも、保健体育ではなく

	て健康教育というものが非常に大事じゃないのかなと前々から思っております。学校教育はいろいろな縛りがあるので、なかなか新しいことを入れることが難しいということは重々承知の上で申し上げているのですが、評価をしなくてはならないところでもあるので、変えていかないと変わっていかないので。健康教育というのが、学校教育の中で取り入れていくというのは是非この 10 年間で変わるようなことがあれば良いのかなと思っています。 デジタルスクリーンの時間がどんどん増えているということも非常に問題で、視力の問題もありますし、脳の問題もいろいろあることを聞きますので、その辺も含めた健康教育ということを是非検討いただけると良いかなという風に思っています。それから、まちづくりというところで、トレーニングセンターなど運動施設を活用いただくということもちろん大事なのですが、まちのなかでできる健康づくりがもっと必要なと思います。特定保健指導の中で、歩く歩幅をチェックしたんですけど、これはまちのなかではできないですかね。岩倉市には公園の中で歩数を調べられたりだとかをできるところがあるんですけど、大口町にはそういう距離とか指標っていうのはありますか。ないですか。とするなら、住民がまちのなかで運動ができるということにしていくためにも、まちづくりの一環にもなるとは思いますが、10m単位のところを少し作っておくとか、歩幅が調べられるようなものを作るとか、そういったまちづくりが自然に健康づくりをしていくという意味でも必要なことではないのかなと思いますので、是非それを検討いただけると良いかなと思います。
戸籍保険課	2 点ほど確認があります。分かりやすくつくられていると思いました。用語集を最後に掲載することが多いかと思いますが、そのあたりはどうする予定ですか。2 点目は、目標のところ、各目標値が設定をされていると思うのですが、指標を把握するタイミングは各年度なのか、中間評価の 12 年度とか、最終評価の 16 年度の頃に目標の数値を把握されるのか、タイミングがいつかなど。目標の指標のところにアンケート調査とあるんですけど、アンケート調査をやるタイミングはどういったように考えていますか。
事務局	1 点目の用語集については、この後資料編とかを整えていきますので、作っていく予定をしています。 2 点目の目標値の評価については、p5 に計画期間と進捗管理というように記載をしておりますが、この計画は令和 7 年度から 18 年度までの 12 年の計画を考えていますので、令和 12 年のところで中間評価を予定しております。10 年経過したところで最終評価と考えていますが、先程お話しいただいたようにアンケート調査は大規模になりますので、中間もなかなか難しいかなと、なので最終になるかと思っています。毎年保健活動のまとめという保健事業の事業評価というか、報告をしております。そちらの事業評価の値をもちまして進捗管理をしていく予定でございますので、今日の資料の「事業実績」や「保健活動のまとめ」となっているところがそこにあたります。戸籍保険課の方でデータヘルス計画という特定健診等の計画もありますので、そちらの計画とリンクした指標ですとか、全体としましては計画書

	のp4、他の計画と整合性をとって計画を進めてまいりますので、高齢者の方のほほえみ計画が3年で1期というものがありますので、そういう計画のところアンケート調査をおこなう指標を利用させてもらいながら、指標管理をしていく予定としています。
長寿ふくし課	当課が関係するところというと、高齢期の健康であったり介護予防であったりになるのですが、地域包括づくりの体制づくりということで、地域の中で色んな方たちが繋がり合ってみたい、そういった意見交換の場をいくつか作らせていただいている中で、先程コラボレーションとあったように、地域の中のいろんな人材であったりだとか、取り組みであったりだとか、そういうところ出されるアイデアそのものを通称「町の宝物」みたいな形で、皆さんにお示しする形で何かしら人と人が繋がったり、アイデアを繋ぎ合わせたり、思いを繋いだり、というところで、少しずつコロナ禍が明けて色んな活動が戻ってくると良いかなというところでアプローチをさせていただいているところです。 先ほど、地域の中の担い手不足の話題もありましたが、まさに本当にその通りでして、盛り上がっている色んな取組の中に新たな世代が入っていくのが結構ハードルが高くてというご相談や、お声をいただいたりしているところであります。そうすると、支えている立場の私たちが、今ある取り組みをそのまま無理やり引っ張ってなんとかやっ払いこうよとするのも1つなんです、もしかするとそれはそれで応援しながら、新しい取り組みを応援して、健康づくりだったり介護予防だったり、人と人が集まる所で、つまりは住民福祉、幸せづくりになるんじゃないのかなというところを今回の計画を見ながら、改めて振り返っていた次第でございます。 それから介護保険でいきますと、p12のところでは要支援要介護認定者の状況を掲載していただいているのですが、担当課としては本当に悩み、悩み多き時代が来てしまった。他所の市町より高齢化が遅いというのもそうですし、これまで予防でやってきた経緯ではあるのですが、やっぱりどうしても色んな活動が追いついていないかな。高齢期に入ってから予防では遅い、追いつかなくなっているような現状を日々実感しているところです。介護認定を受けられる方で1番多いのが認知症で、次いで脳血管疾患だったり、骨折・転倒だったりというところになると、やっぱりライフコースアプローチを踏まえてともありますが、少し若い世代の皆さんと一緒にやっていく取り組みも高齢担当としては必要になってくるのかなというところで、計画を見て身の引き締まるような思いです。
副委員長	人口動態は、全国的に出生数より死亡数が上回っている状態が続いています。大口町でも同じように、資料のp10を見ますと、令和3年から死亡数が出生数を上回ってきている。こういう傾向はこれからも続いていくと思います。そういった意味で、人口が少しずつ少しずつ減少していく。そういった中で健康長寿というものを考えて計画を進めていかれると思うんですけど、今回の健康長寿を目指すためにライフステージごとに各分野にあたってどちらも共通しているところと違うところがこの計画では分かりやすく書かれているという意味では良いんじゃない

	いかと、参考になるんじゃないかと思います。無理をしない、やりすぎもいけないし、やらないのもいけないから、やることはやって長生きというようなことが一番良いんじゃないかなと私はいつもそう思っているんですね。健康でなければ仕事もできないし、楽しいこと、趣味なんかもできない。そういうものがあれば、キャッチフレーズにもありますけれど、幸せになれるんだなど。響きとしては良い響きだと思います。私は大体決められたものを評価する方ですから、健康で幸せになれる、健康であれば幸せになれるんじゃないかなとそういうつもりですけど。高齢になってくると、欲張らないから、健康でさえあればなんとかなるんじゃないかな、幸せになってくれば自分で考えれば良い、無理して感じなくてもいつも感じている。若い 40 代 50 代だとそんなことも言ってもらえないと思いますが、70 超えて 80 近くなってくるとあまり無理をしない方が 1 番良いと思います。三次計画というのは分かりやすく書いてあるなど感じています。 睡眠時間の量と質、量も質も大事ですが、今回は量のことはあまり謳ってないですね。睡眠時間はどれくらい眠れば良いなどと言いますけど、書いてあった気もしたんですけど今回これに何も書いてなかったですね。大体 6 時間くらいから 8 時間とか 9 時間になると書いてあったような気もするが、今回は書いてなかったですかね。 歩数について、1 万歩はとんでもない数、例えば高齢者の場合は 6,000 歩くらいで無理しないで動くということも書いてないですね。具体的な数字が。あまり書かれなかった理由がありますか。このへんだけお聞きしたかった。 そんなことで、程々にやっていくのが良いと私は思います。
事務局	睡眠時間のところ、p55 ころのころですが、皆さんにお配りした後から色々で見直しまして、ころの健康を睡眠とか休養とかってということも今回の計画のところでは繋げていきたいなというところで、休養・ころの健康ということで、休養というのでも入れさせていただこうと思います。そして、そんな中で睡眠とか休養というのはすごく大事というところで、何時間というのも人それぞれ、体質だったりとかライフステージだったりあるので、良質な睡眠というようなところ。なので、それが人によっては短い時間であっても、ぐっと眠れて疲れが取れてアンケートでも目覚めた時にすっきりと起きられた人の割合を示しているんですけど、第二次計画からしても悪くなっているような状況で、本当にストレスフルな社会の中で、寝ている時間、こどもさん達のアンケートをとってもそうなんですけど、時間はそれなりに 7 時間とか 8 時間とかとっているんだけれども、目覚めた時に疲労感が残っているようなことで回答している人が増えてきているところなので、良質な睡眠をとるためにはというようなところで、推進していけたらなというところで、時間数ということは個人差があるので、あえて書きませんでした。 あと歩数に関しても、同じように、健康づくりを盛り上げるときには 1 日 1 万歩など、食品に対しては 1 日 30 品目食べようとかというところで、やっていたこともあるんですけど、時代とともに色々研究されて変わってきています。エビデンスが

	はっきりしてきたというところもあるし、ライフステージによって、1 万歩近く歩いた方が良い年齢もあれば、副委員長も言われたように、高齢期になったら無理のない形で 6,000 歩とか、こまめに、ずっと歩き続けるのではなくて 1 日の中でトータルしてこのくらい歩ければ良い、となってきたので身体活動という形で運動のところを入れたんですけど、動く生活習慣が日常生活の中に入れられればというようなことも入れているので、あえて数字でこれだけ歩かないとだめですよとか、これだけ寝ないとだめですよというようなことは今回のところでは入れていないということです。その人に合ったもので。
副委員長	そのほうが良いと思います。運動するには食べなきゃいけないわけですよ、まず。運動が先で食事が後、人間は食べてから動くと思うですよ。食べて力を付けてから動くわけですから。これを見ているといつも運動が先に来て、食生活が後っていうのがちょっとなんとなく…って感じがします。
委員長	ありがとうございます。皆さまからのご意見や、こういう風にやっていったら良いんじゃないかという課題をお話ししながら私たちはこうしていきますという意気込みのように聞こえてくる部分も多々あったかなというふうに思います。時間もだいぶ近くなってきましたので、事務局の方に最後お返ししたいと思います。
事務局	たくさんのご意見ありがとうございました。皆様方に資料をお配りしてから、事務局の方でも見れば見るほど、言い回しを変えた方が良いんじゃないかというところも出てまいりました。このあと修正をしまして、この後のパブリックコメントに控えたいと思います。 先程いただいたご意見の中で少しご説明をさせていただければと思います が、「つながる」の表記の部分ですね。いくつかご意見だとかご指摘をいただきましたが、この健康づくり推進協議会と意見交換会の中でも、何かと何かを掛け合わせて繋がる意味もあったり、人と人が繋がるとか、団体さんと行政が繋がるとか、色んな意味の繋がるを込めての「つながる」だったかと思います。その説明を少し加筆させていただければと思います。 また、歩幅を測るとか歩くスピードを測るようなところが町の中にあるかというご質問ですが、オークマ総合グラウンドの方で、トラックに 1 周何 m ですよという表記が確かあったかと思いますので、そのあたりを施設管理の方とご相談させていただきながら、健康づくりに繋がる何かができるという風に思いました。 それからp77 の自然に健康になれる環境づくりというところの(5)健康づくりの可能性を広げるコラボレーションの推進というところでは、この計画書を作っていく中で、いろんな団体さんとコラボをするということもやっていけると良いなというところで、意見交換会をさせていただきました。実際に NPO 団体さんのお取り持ちによりまして、バスサポさんと町の中でウォーキングができないかというようなウォーキングコースだったり、移動手段がないという健康課題もありましたので、大口町は車社会だということはよくご存じかと思いますが、いざとなった時にバスが使える、公共交通機関が使えるようにというところの、高齢期になる前からバ

	スを使い慣れるというところと健康課題と町の中で遊ぶというか歩くというところで、バスサポさんともすこしお話をさせていただいたり、まちづくりの推進課、プロモーション事業とタイアップをするというようなお声がけもいただきまして、三次計画推進に向けて、少し進み始めている部分もありますので、ご紹介をさせていただきます。 最後に、こちらの修正案につきまして、パブリックコメントを予定しております。令和7年1月14日(火)から31日(金)までの2週間あまりをパブリックコメントの期間として予定しております。皆様方にはその前に最終段階に修正したものを一度お示しさせていただきまして、ご意見をまたいただければと思いますので、年明けになろうかと思いますが、資料の方を配布させていただきます。お目通しいただきまして、ご意見をいただきましたらと思います。修正案については事務局の方にご一任いただいてよろしいでしょうか。
	異議なし
事務局	ありがとうございます。では作業の方を進めさせていただきます。 以上です。
事務局	皆様から、本日いただきましたご意見を踏まえ、次回、令和7年2月21日(金)に第4回を予定しております。その時にはパブリックコメントの報告と概要版についてお示しをできたらというふうに予定しておりますので、今後とも、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。また気づいたことがありましたら個人的にでもなんなりとご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いします。
委員長	以上をもちまして、健康おおぐち21第三次計画の第3回大口町健康づくり推進協議会を終了いたします。 皆様おつかれさまでした。